

		卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)
医学部保健学科	学部全体	<p>医学科、保健学科それぞれの教育目標を踏まえ、各学科各専攻が定める教育成果を獲得すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に学士の学位を授与します。</p>	<p>体系性：各分野の学問体系に従った教育課程を編成しています。</p> <p>段階性：基礎的な科目から学年進行に沿って、応用的、発展的、実務的な科目を習得できるよう修学プログラムを編成しています。</p> <p>個別化（進路への対応）：医療者、研究者、教育者としての将来の各進路に則した科目履修ができるよう、編成しています。</p>	<p>熊本大学医学部では、医学・保健学（看護学・放射線技術科学・検査技術科学）の発展に寄与し、広く社会に貢献できる医療者・研究者・教育者を育成するために、豊かな人間性、優れた協調性、高い倫理観、充分な基礎学力、科学的探究心、国際的視野を持つ人を求めています。</p>
	保健学科全体	<p>保健学科は、学士課程において、「命の尊さを深く認識するとともに、豊かな教養と人間性に裏付けられた倫理観および確かな専門知識と技術を基礎に、医療技術の進歩や情報化に即応して、チーム医療に対応できる医療人、ならびに社会、医療を取り巻く環境の変化に対応し、地域に根ざし、かつ国際的視野で健康の保持増進や生活の質向上、疾病の予防や環境問題に取り組むことのできる医療人の育成」を目的としています。</p> <p>このことを踏まえ、各専攻が定める学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、医療従事者、教育・研究者として必要とする専門分野において所定の単位と資質を取得した者に学位を授与します。</p>	<p>保健学科は、学士課程の目的である「命の尊さを深く認識するとともに、豊かな教養と人間性に裏付けられた倫理観および確かな専門知識と技術を基礎に、医療技術の進歩や情報化に即応して、チーム医療に対応できる医療人、ならびに社会、医療を取り巻く環境の変化に対応し、地域に根ざし、かつ国際的視野で健康の保持増進や生活の質向上、疾病の予防や環境問題に取り組むことのできる医療人の育成」を達成するために、以下の方針に基づき教育カリキュラムを編成しています。</p> <p>体系性：各分野の学問体系を基盤とし、国家資格取得に必要とする科目群をバランスよく学修できるように教育課程を編成しています。</p> <p>段階性：基礎的な科目により幅広い知識を修得し、学年進行に沿って応用的・発展的ならびに実務的な科目を学習できるよう編成しています。</p> <p>個別化（進路への対応）：各年次に各専攻分野を構成する専門的な授業科目を置き、将来の進路に則した科目履修を保证するように編成しています。</p>	<p>保健学（看護学、放射線技術科学、検査技術科学）の発展を担い、広く社会に貢献できる資質の高い医療者・研究者・教育者を育成するために、保健学科では次のような人を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護職（看護師、保健師、助産師）並びに診療放射線技師、臨床検査技師という職業に魅力を感じ、専門分野において地域貢献するとともに、国際的な広い視野で物事を考え、活躍する意欲と熱意のある人 2. 人間に対する尊厳の念を持ち、多様な価値観を受け入れる寛容さと優れた協調性を備えた人間性豊かな人で、医療における高い倫理観とマナーを育てている資質を持った人 3. 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解した上で、国語、外国語とともに2科目以上の理科（生物、化学、物理）において優れた学力を有する人 4. 高等学校までに自らの目標に基づいて取り組んだ経験やクラブ活動あるいは生徒会活動、ボランティア活動等の経験を有し、様々な社会環境を受け入れることができる豊かな人間性を持った人 5. 専門分野の知識や技術に興味・関心を持って学び、実験や臨床実習においても真摯な態度で自らの課題を設定して問題解決し、新しい分野にも積極的に取り組んでいくフロンティア精神を持った人 6. 協調性に富み、チーム医療の一員としてお互いの仕事を尊重しつつ協同的に働き、専門分野における役割・機能の責務を果たし、指導的役割を担える資質を有する人 7. 科学的探求心と積極的学習意欲を備え、学部卒業後は専門職業人や教育者・研究者としての能力を高め、指導的立場に立つて社会貢献しようという意欲のある人
	看護学専攻	<p>看護学専攻は、学士課程において、「命の尊さを深く認識するとともに、豊かな教養と人間性に裏付けられた倫理観および確かな専門知識と技術を基礎に、医療技術の進歩や情報化に即応して、看護師、保健師、助産師としての専門領域だけでなくとどまらず、チーム医療に対応できる医療人、ならびに社会、医療を取り巻く環境の変化に対応し、地域に根ざし、かつ国際的視野で健康の保持増進や生活の質向上、疾病の予防や環境問題に取り組むことのできる医療人の育成」を目的としています。</p> <p>このことを踏まえ、看護学専攻が定める学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、看護師として必要な所定の単位を取得し、さらに看護学領域における教育・研究者として必要とする資質を取得した者に学位を授与します。</p>	<p>体系性：看護学分野の学問体系を基盤とし、看護師・保健師・助産師の国家資格取得に必要な科目群をバランスよく学修できるように教育課程を編成しています。</p> <p>段階性：基礎的な科目により幅広い知識を修得し、学年進行に沿って応用的・発展的ならびに実務的な科目を学修できるよう編成しています。</p> <p>個別化（進路への対応）：各年次に看護学専攻を構成する専門的な授業科目を置き、将来の進路（看護師・保健師・助産師）に則した科目履修を保证するように編成しています。</p>	<p>看護学の発展を担い、広く社会に貢献できる資質の高い看護職者（看護師、保健師、助産師）・研究者・教育者を育成するために、看護学専攻では次のような人を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護職（看護師、保健師、助産師）に魅力を感じ、看護学分野において地域貢献するとともに、国際的な広い視野で物事を考え、活躍する意欲と熱意のある人 2. 人間に対する尊厳の念を持ち、良好なコミュニケーションを築きあげることで、多様な価値観を受け入れる寛容さと優れた協調性を備えた人間性豊かな人で、医療における高い倫理観とマナーを育てている資質を持った人 3. 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、優れた学力を有する人 4. 高等学校までに自らの目標に基づいて取り組んだ経験やクラブ活動あるいは生徒会活動、ボランティア活動等の経験を有し、様々な社会環境を受け入れることができる豊かな人間性を持った人 5. 看護学領域の知識や技術に興味・関心を持って学び、臨床実習においても、真摯な態度で自らの課題を設定して問題解決し、新しい分野にも積極的に取り組んでいくフロンティア精神を持った人 6. 協調性に富み、チーム医療の一員としてお互いの仕事を尊重しつつ協同的に働き、看護の専門家としての責務を果たし、指導的役割を担える資質を有する人 7. 科学的探求心と積極的学習意欲を備え、学部卒業後は看護師、保健師、助産師として、さらには、看護領域における教育者・研究者としての能力を高め、指導的立場に立つて社会貢献しようという意欲のある人

		卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)
医学部保健学科	放射線技術科学専攻	放射線技術科学専攻は、学士課程において、「命の尊さを深く認識するとともに、豊かな教養と人間性に裏付けられた倫理観および確かな専門知識と技術を基礎に、医療技術の進歩や情報化に即応して、チーム医療に対応できる医療人、ならびに社会、医療を取り巻く環境の変化に対応し、地域に根ざし、かつ国際的視野で健康の保持増進や生活の質向上、疾病の予防や環境問題に取り組むことのできる医療人の育成」を目的としています。 このことを踏まえ、放射線技術科学専攻が定める学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、診療放射線技師として必要な所定の単位を取得し、教育者、研究者としての資質も身につけた者に学位を授与します。	体系性：放射線技術科学分野の学問体系を基盤とし、診療放射線技師の国家資格取得に必要なとする科目群をバランスよく学修できるように教育課程を編成しています。 段階性：基礎的な科目により幅広い知識を修得し、学年進行に沿って応用的・発展的ならびに実務的な科目を学修できるよう編成しています。 個別化（進路への対応）：各専門分野の授業科目や臨床実習によって、将来の進路に則した科目履修を保障するだけでなく、研究室配属を行い、研究マインドも修得できるよう編成しています。	放射線技術科学の発展を担い、広く社会に貢献できる資質の高い診療放射線技師・研究者・教育者を育成するために、放射線技術科学専攻では次のような人を求めています。 1. 診療放射線技師という職業に魅力を感じ、放射線技術科学分野において地域貢献するとともに、国際的な広い視野で物事を考え、活躍する意欲と熱意のある人 2. 人間に対する尊敬の念を持ち、多様な価値観を受け入れる寛容さと優れた協調性を備えた人間性豊かな人で、医療における高い倫理観とマナーを育てていける資質を持った人 3. 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、優れた学力を有する人 4. 高等学校まで自らの目標に基づく取り組みやクラブ活動あるいは生徒会活動、ボランティア活動等の経験を有し、様々な社会環境を受け入れることができる豊かな人間性を持った人 5. 放射線技術科学分野の知識や技術に興味・関心を持って学び、実験や臨床実習にも真摯な態度で自らの課題を設定して問題を解決し、新しい分野にも積極的に取り組んでいくフロンティア精神を持った人 6. 協調性に富み、チーム医療の一員としてお互いの仕事を尊重しつつ協働し、診療放射線技師としての役割・機能の責務を果たす意欲のある人 7. 科学的探求心と積極的学習意欲を備え、学部卒業後は診療放射線技師や教育者・研究者としての能力を高め、指導的立場に立って社会貢献しようという意欲のある人
	検査技術学専攻	検査技術学専攻は、学士課程において、「命の尊さを深く認識するとともに、豊かな教養と人間性に裏付けられた倫理観、確かな専門知識と技術を基礎に医療技術の進歩や情報化に即応してチーム医療に対応できる医療人、ならびに社会、医療を取り巻く環境の変化に対応し、地域に根ざし、かつ国際的視野で健康の保持増進や生活の質向上、疾病の予防や環境問題に取り組むことのできる医療人の育成」を目的としています。 このことを踏まえ、検査技術学専攻が編成・実施した教育課程を通して、臨床検査技師として必要な所定の単位を取得し、教育者、研究者としての資質も身につけた者に学位を授与します。	体系性：検査技術科学の学問体系を基盤とし、臨床検査技師の国家資格取得に必要なとする科目群をバランスよく学修できるように教育課程を編成しています。 段階性：基礎的な科目により幅広い知識を修得し、学年進行に沿って応用・発展的ならびに実務的な科目を学修できるよう編成しています。 個別化（進路への対応）：各年次に人体構造学や病理検査学、血液検査学、臨床化学、遺伝子検査学、免疫検査学、病原生物学、環境衛生・公衆衛生学、生理機能検査学、画像検査学、検査情報・機器管理学などの専門的な授業科目を置き、将来の進路に則した科目履修を保障するよう編成しています。	検査技術科学の発展を担い、広く社会に貢献できる資質の高い臨床検査技師・研究者・教育者を育成するために、検査技術科学専攻では次のような人を求めています。 1. 臨床検査技師という職業に魅力を感じ、臨床検査学分野において地域貢献するとともに、国際的な広い視野で物事を考え、活躍する意欲と熱意のある人 2. 優れた学力を有する人 3. 高等学校まで自らの目標に基づいて取り組んだ経験やクラブ活動あるいは生徒会活動、ボランティア活動等の経験を有し、様々な社会環境を受け入れることができる豊かな人間性を持った人 4. 検査技術科学分野の知識や技術に興味・関心を持って学び、新しい分野にも積極的に取り組むフロンティア精神を持ち、学内外での学習の場において真摯な態度で自らの課題を設定し、問題を解決できる能力を有する人 5. 協調性に富み、チーム医療の一員としてお互いの仕事を尊重しつつ協働的に働き、臨床検査の専門家としての責務を果たし、指導的役割を担える資質を有する人 6. 科学的探求心と積極的学習意欲を備え、学部卒業後は専門職業人や教育者・研究者としての能力を高め、指導的立場に立って社会貢献しようという意欲のある人

学修成果（医学部）

保健学科		
看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
<p>豊かな教養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の成長発達や人間の心理学的現象について必要な知識を説明できる。 ・社会学や哲学を通し、人と環境との相互作用に関する知識を説明できる。 ・自分の課題や関心において、自発的に学習することができる。 	<p>豊かな教養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療における役割と現状について説明することができる。 	<p>豊かな教養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員として幅広い教養に裏付けられた豊かな人間性と広い社会的視野を持つ。
<p>確かな専門性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学のメタパラダイムである人間、環境、健康・保健、看護に関する理論を説明できる。 ・からだやこころの構造・機能、疾病に関する病態生理が説明できる。 ・看護実践において必要とされる知識と技術を説明、実施することができる。 	<p>確かな専門性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線技術科学における診療機器類の原理を理解し、活用することができる。 ・放射線技術科学における画像検査技術と放射線治療技術を修得し、説明できる。 ・法規制にしたがった放射線の安全な取扱いと管理ができる。 ・撮影された画像と生体内部の臓器の関係を理解し、説明できる。 ・画像診断の過程を論理的に理解し、説明できる。 	<p>確かな専門性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査技術科学の基本的理論・概念について説明することができる。 ・病気の診断治療や健康状態の把握に必要な医学的検査法に習熟している。
<p>創造的な知性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学における課題を設定し、解決することができる。 ・関心領域や社会的問題の事象に関し、討議することができる。 	<p>創造的な知性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線技術科学領域における課題を見出し、その解決法を見出すことができる。 ・スライドの作成から口頭による研究発表および論理的な討議を行うことができる。 ・研究成果を明晰な論理の筋道と説得力ある表現を用いて、論文としてまとめることができる。 	<p>創造的な知性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査技術科学の最新動向について様々な情報源から自律的に学ぶことができる。 ・課題に対する研究方法、解析技術等を理解し、柔軟な発想と論理的思考から仮説を検証できる。
<p>社会的な実践力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人との間で相互作用をし、相手のおかれている状況を理解し、説明できる。 ・看護以外の社会における現象に関心を持ち、一市民として参加することができる。 	<p>社会的な実践力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者に不安を与えないような接遇ができる。 	<p>社会的な実践力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化・社会に関する一般的な理解と関心を持ち、医療従事者としての職業観、倫理観を培うことができる。
<p>グローバルな視野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的に必要とされる英語を用いて看護学に関する現象を話すことができる。 ・外国語運用能力を用い国際的な視野で看護学を構築するためのコミュニケーションが実施できる。 	<p>グローバルな視野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療技術に関する英語の文献を読解することができる。 	<p>グローバルな視野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然・生命・医学・医療に関する基本的な理解と広い視野を持っている。 ・英語の文献を読解するとともに、英語による簡単なプレゼンテーションを行うことができる。
<p>情報通信技術の活用力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に応じて情報処理技術を駆使し、目的に対する情報分析を行うことができる。 	<p>情報通信技術の活用力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験データの処理や統計的処理のためにコンピュータを利用することができる 	<p>情報通信技術の活用力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITを利用し、情報の収集・分析や交換を行うことができる。
<p>汎用的な知力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他分野の専門家と情報を交換し、自分の立場で意見を述べるができる。 ・自分の関心領域に関する文献、図書を検討し、理解し、要約して人に伝えることができる。 	<p>汎用的な知力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健学科の他の専攻の学生や医療施設の医療技術者と、医療技術に関するコミュニケーションができる。 	<p>汎用的な知力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明晰な論理の筋道と説得力ある表現を用いて、情報や意見を伝えることができる。